

ICT等を活用した新しい製品・技術開発の現場実証に必要となるフィールド(市が管理する道路施設等)を企業等に提供する取組について、令和6年度の実施結果を報告します。

	企業名	実施場所	フィールド提供概要	実施期間	実施結果
1	株式会社オサシ・テクノス	川崎区管内	冠水センサ及び水位計による道路冠水状況の検知	令和6年4月2日～令和7年3月31日	角度調整により前年度の課題であった水位計のエラー値を解消することができたが、天候に関わらずセンサが冠水とみなす状況が見受けられたため、代替センサ及び冠水状況を適切に把握するため、カメラを新たに取付け、令和7年度に再度検証を行う。
2	株式会社アイシン	中原区管内	車載カメラを搭載し、収集した画像データを基にAI解析を行った道路状況把握の有効性及びタクシーでのエリア網羅性の確認	令和6年11月29日～令和7年1月31日	画像認識による異常箇所の検出において、応急補修が必要な異常箇所の検出が確認できた。 また、タクシー2台による2か月間の市内道路の網羅率は約18%となり、走行箇所の重複により網羅率が伸びない結果となり、搭載する車両の選定などの課題を確認。